巡回支援つうしん 2026 秋号

令和８年10月発行

食欲の秋の到来です。年末に向けて様々なイベントを計画されている施設も多いのではないでしょうか。安心して過ごせる環境のなかで、こどもたちと楽しい時間を過ごしたいですね。

保育インフォメーション

巡回支援では、巡回支援員から状況に応じた助言を行うことで、皆様と共に考える良い機会となります。保育施設へ訪問した際、配慮を必要とするこどもや保護者対応について伺った巡回支援の様子を紹介します。



保育施設

少し配慮が必要なお子さんが在籍しています。特定の保育士にしか馴染めず他の職員が関わろうとすると不安定になってしまうのです。



こだわりのあるお子さんは、安定して関わる担当がいると落ち着くことが増え、その子のもつ可能性を伸ばしてあげやすくなります。ただ、担当者１人に背負わせるのではなくチームでフォローしていくと良いですね。



巡回支援員



気付いた時に忘れないよう付箋に書きミーティングで活用・共有しています。



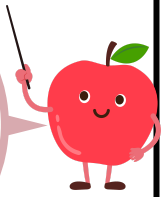
小さな変化や気づきを見逃さず、丁寧に拾い上げていくことは大切ですね。





家庭との連携でも難しさを感じています。保護者の方が受け止めることが出来ない場合、どのように伝えるか悩む場面もあり、伝え方の難しさを感じることもありました。

このこともミーティングや園内研修で話し合ってみることをオススメします。仕事で疲れて迎えに来た保護者が受け止めやすい伝え方や、明るい気持ちで帰宅できる関わり方を共有することが大切です。園のチームワークで、これなら実践できるという方法を見つけてみてください。



次ページへ

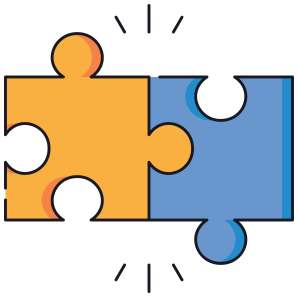


園での様子を伝えた後に「お家ではどうですか？」とお尋ねすると柔らかくなりますね！

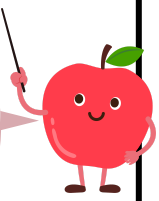




配慮を必要とする子の転園先との連携はこどもにとって良いことなのですか。



こどもの好きなことや苦手なこと、園での関わりを共有することで、受け入れる側も配慮しやすくなり、この子の困り感の軽減につながります。
連携する際には、園としてどのような機関(*)と連携をとっているのかを説明し、何かあれば相談してください、と伝えておくと良いですね。



★人的環境の取り組み★（A保育園の事例）

A保育園では、令和６年度施設長等研修で学んだ「多様性を尊重しよう『こどもは1ミリも変えない！』」という話を職員で共有し､「こどもを変えようとするのではなく、まずはこどもの思いを受け止めること」を大切に実践しています。

園には、療育に通うこどもがいます。以前は散歩へ行くことに気持ちが向かない姿が見られました。

「行きたくない」のではなく「何か他に理由があるのでは」と職員間で考え、行動の背景を探りました。

散歩に出る前の手順をこども自身に選んでもらうなど、安心できるルーティンを意識した支援を行ったところ、こどもが主体的に選択し、スムーズに散歩へ移行できるようになりました。

また、保育生活全般において、言葉での働きかけに加えて絵カードを活用し、活動そのものをイメージできるよう支援しています。

今では保育士からの提案に、自分の思いを言葉で伝えようとするようになりました。保育士もその思いに寄り添っています。

こどものルーティンがあります。散歩に出る前の手順「靴下」「水筒」「帽子」を選択できるよう、お散歩の準備時に並べています





絵カードの一例

活動内容をイメージしやすいように絵カードを準備しています。

巡回支援員が訪問した際の観察では、ブロック遊びの時に近くで遊ぶ友達をチラッと見ながら遊んでいる姿が見られました。園長先生もこれからの成長を楽しみにしているそうです。保育者がこどもの成長を一緒に楽しんでいる姿を見ることができました。

（＊）例えば、市区町村の保健センター、保健所、児童発達支援センター、相談支援事業所など

巡回支援トピックス

みなさんの施設では、どんな食育活動を取り入れていますか？
巡回支援で見られた、「０～２歳児の発達に合わせた」食育活動の取組事例を紹介します。



「マコモダケ」は10月～11月が収穫のシーズン
マコモダケが出回ると秋の訪れを感じるそうです

地域の特産物を使った食育活動（B保育園の事例）

B保育園では、地域の特産物「マコモダケ」を季節に合わせた食材として食べています。
「マコモダケ」は、イネ科の「マコモ」という植物の茎が太くなった部分です。
「マコモ」は古くから神事に使用され、出雲大社のしめ縄にも使われているそうです。

成長した茎の部分は「マコモダケ」として炒め物、油ぞうめん（油そうめん）や天ぷらなど各家庭の調理法で楽しまれています。B保育園では天ぷらやおにぎりにして給食とおやつで提供しています。

「マコモダケ」はトウモロコシのように外側の皮をむく体験ができます。
皮をむくなど体験できたことで心に残りますね。



先生から「マコモダケ」について話を聞きます



皮をむきます
真剣です



みんな上手にできました。
その様子を記念撮影📷ハイポーズ！



取り組みの様子をSNSにあげることで保護者の方にも伝わるように発信されています。



保護者から「美味しそうだね！何が入ってた？」など、おうちに帰ってからの会話もはずみそうですね

他にも食育活動として、容器に入れた調味料をシャカシャカ振って作る「ドレッシング作り」や「夏の野菜スタンプ」にもチャレンジしているそうです。

保育のアイデアBOX

日々の保育に役立つ”ちょこっとアイデア”

皆さんの施設では、どんな手作りおもちゃがありますか？安全に配慮しながら、こどもの発達に合わせた手作りおもちゃを取り入れていくのも良いですね。

巡回支援員より、軍手を用いた手作りの「手袋人形」を紹介いただきました。市販のものもありますが、軍手・フェルト・マジックテープでオリジナルの手袋人形が作れますよ。



カレーライスのうた

①ニンジン、玉ねぎ、じゃがいも、豚肉～



②お鍋で炒めて～



③グツグツ煮ましょ～



④トマトカレ～ルゥ～



⑤とけたら味みて～



⑥お塩を入れたら～



⑦はい！出来上がり～



どうぞ～



ポケットに入れておくといつでもできますね。

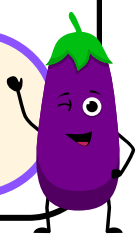
他にもシリーズを紹介いただきました



3びきのこぶた　三びきのやぎのがらがらどん



手袋人形は小さいのでこどもと近くで対話できます。こどもの表情を見ながらお話できるのが良いですね。



公益財団法人 児童育成協会 子ども相談支援部 巡回支援課　TEL：0570-550-819（5をプッシュ）

令和７年度より「巡回指導」から「巡回支援」に事業名が変更となったため、「巡回指導つうしん」から「巡回支援つうしん」に名称を変更しております。(2026 秋号 VOL.11)

こども家庭庁　公益財団法人 児童育成協会（本事業は児童育成協会がこども家庭庁から運営を受託して実施しています）